

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-8560 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 病理診断科 鹿股 直樹

【研究責任者】

聖路加国際病院 病理診断科 鹿股 直樹

乳癌の方を対象とした病理学的及び分子生物学的研究

1.研究の対象

2005年1月1日から2017年12月31日までに当院にて乳癌と診断され、手術療法を受けられた方

2.研究の目的・方法

妊娠中に発症した乳癌と定義される妊娠期乳癌は、出産年齢の高齢化や若年発症乳癌増加に伴い増加傾向にあります。近年では化学療法・手術療法を併用した妊娠の継続が可能となってきましたが、非妊娠期の乳癌とくらべて進行癌・リンパ節転移例が多く、予後改善のため、さらなる治療法が模索されています。

本研究では、妊娠期乳癌の治療・予後への貢献のため、妊娠期乳癌の生物学的特徴を明らかにすることを目的とします。

この目的を達成するために、病理組織ブロックをもちいて、炎症細胞の移動を調整する蛋白質であるCXCL13についての免疫組織化学染色を行います。

本研究は既存試料・情報を用いた観察研究のため、通常の保険診療以外の医療行為はありません。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2026年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年6月10日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、カルテ番号、病理診断情報 等

《試料》 病理組織ブロック

4.外部への試料・情報の提供

病理組織ブロックをもちいた免疫組織化学染色は外部施設（日本大学医学部病態病理学系腫瘍病理学分野）で行いますが、個人情報削除した番号を使用して受託をおこないます。特定の個人を直ちに判別できる情報と被験者識別コードを対応させたリストは、当院の研究責任者が保管・管理します

5.研究組織

日本大学医学部病態病理学系腫瘍病理学分野 野寄 史